

令和4年度 学校評価（自己評価）集計結果

⑤を5点、4を4点、3を3点、2を2点、1を1点として、平均を算出し、四捨五入して点数を表示した。

(1) 教育理念・学校教育目標

4.3

①	学校の理念、目的、望ましい学生像が定められているか。	4.5
②	学校における職業教育の目標が明確か。	4.5
③	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか。	4.2
④	学校の理念、目的、学生像、将来構想等が学生・保護者に周知されているか。	4.0

課題等

・適切である。(3)
 ・保護者宛の文書を出しても保護者の目に触れないものがある。学生には周知できていても、保護者に周知できないこともある。
 ◎教育理念や学校教育目標、学生像等についての説明が、保護者に現状不十分との指摘であるが、より説明する機会やツールを検討したい。

改善方策等

・④について、年度初めに学生にはHPで、保護者にはHPや文書で周知。
 ◎周知方法について
 学生に対して
 教育目標は教室に掲示してある。学校の理念は学校説明会で校長が説明しているので、教員が機会あるごとに「学生第一の教育」をしていることを話し、実践する。学生像は日々の生活の中で教員から伝えていく。
 保護者に対して
 HPで知らせる。PTA会報に掲載し、入学式で校長より式辞の中で説明する。
 ・適切である。
 ・将来構想については面談が良い方法。
 ◎誰との面談でしょう？保護者？学生？それとも校長と教職員の面談でしょうか？
 ・しっかり知らせたい場合には、保護者のメールにも知らせるシステムにする。
 ◎保護者のメールアドレスを収集し、メール配信するもの一つの方法だと思うが、メールアドレスを学校に知らせることに抵抗のある保護者もいると思う。その場合は、希望者だけになると思う。

(2) 学校運営

3.9

①	経営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4.0
②	運営組織や意志決定機能が明確化され、有効に機能しているか。	4.0
③	人事、給与等に関する規定等は整備されているか。	3.8
④	教務・事務等の分掌組織、意志決定システムが整備されているか。	3.8
⑤	教育活動に関する情報公開が適切にされているか。	4.3
⑥	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3.7
⑦	予算・収支計画が有効かつ妥当なものとなっているか。	3.5
⑧	指導力を備えた教員（本務・兼務）の確保に努めているか。	3.8

課題等

給与面での課題があり、指導力を備えた教員の確保は難しい。
 教員数を確保。
 個人のメールアドレスがない。
 若手の育成システムの確立。
 パソコンの台数が整備され、業務の効率化になっていると思う

改善方策等

WI-FIの環境整備を検討する。
 個人のメールアドレスの取得し、データでやりとりできるものは、データでやりとりする。
 公式HPにもっと力を入れる。
 システムの見直し、検証を行う。

(3) 教育活動・教育環境

4.0

①	学校教育目標・指導要領・学則等に基づいた教育課程が編成されているか。	4.2
②	学科の到達レベルや学習時間の確保は明確か。	4.3
③	実践的職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか。	4.1
④	理・美容部会が機能し、教育活動の改善が図られているか。	3.9
⑤	授業評価の実施・評価体制が図られているか。	4.5
⑥	成績評価、単位認定、進級・卒業の基準は明確か。	4.3
⑦	資格取得に関するカリキュラム、指導体制は整っているか。	4.0
⑧	教員が先端知識・技能等を習得するための研修等の取組が行われているか。	3.4
⑨	学校行事等、適切に立案され実施されているか。	4.1
⑩	施設・設備は必要性に対応できるよう整備されているか。	4.0
⑪	防災体制は整備されているか。	4.0
⑫	生徒指導の重点（挨拶・マナー・後始末）が適切に実施されている。	3.9

課題等

挨拶等をしっかりさせる。（2）

マスクのせい、挨拶ができていない学生もいた。

研修に参加し、幅広い社会のニーズに対応できる学生を育てることが大切。

外部の研修に参加できるようになると良い。

教員の研修が無料のものに限定されている。あらかじめ予算化されていると学びたいものにも幅が出ると思う。

最先端か、といわれるとそうではない感じがする。

授業内容における学生からのフィードバックを得る機会がない。

教員ごとに技術の教え方が違う。

前期にできていたものが、後期に続かないことが多い。

改善方策等

理美容部会をほぼ毎月1回行ない、他の学年がやっていることが分かったので次年度に生かし、今後2年間を通してカリキュラムの作成を行っていく。

研修については先端の研修内容を考え（アンケートをとる）研修日を設ける

これまではコロナで声が出せない状況でしたが、教員から声を出して挨拶をしていく。

マニュアルを作成しており、それに沿って学校で統一した教え方をしていく

授業評価アンケートを再会する。

(4) 学生支援

3.7

①	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。(教務)	4.2
②	学生相談に関する体制は整備されているか。(生徒指導)	3.9
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。(事務)	4.0
④	学生の生活環境への支援は行われているか。(生徒指導)	3.5
⑤	保護者と適切に連携しているか。(生徒指導)	3.8
⑥	卒業生への支援体制はあるか。(生徒指導)	3.3
⑦	高校等との連携による職業教育等の取組状況はどうか。(広報)	3.5

課題等

卒業生が困ったとき、担任以外でも相談に乗れると良い。

学校独自の奨学金があればなおよい。

学生の困窮具合は日常見ている姿からは判断できないと思います。相談する体制があっても提示できるものがあるか、疑問です。

奨学金の説明会が威圧的で毎回学生から不評である。

進路・就職に関して、窓口が曖昧な気がします。

学生に対する経済支援は皆無

支援・相談はできているが生活環境については個々によると思う。

改善方策等

面談を行い保護者との連絡をとっている。

国家試験不合格者への支援は実施している。また、離職者(やめたいも含む)については、来校すれば、元担任等にて対応している。

現状の受入れ体制は維持しつつ、受入れ窓口を増やすため、HP内に専用のリンク設置を検討する。

学校独自の奨学金は財源の裏打ちがないのでむずかしい。

職場体験の受け入れを続けていく。

各個人への対応については、学年全体で協議していく。

担任が不在の時もあるので、誰でも相談にのれる体制としたい。

一人一人の進路面談を充実させる。

(5) 広報・募集活動(広報)

4.1

①	広報・募集活動は重点化・効率化が図られ適正に実施されているか。	4.2
②	広報・募集活動を支援する職員体制ができているか。	4.1
③	広報・募集活動では、教育成果が適正に伝えられているか。	4.1

課題等

適切である。

国試合格率の低下によるアピールポイントの減少

広報部の人員の入れ替わりが激しい。

専任職員の採用・教育

改善方策等

適切である。

今後の体制を整えておく。

副担任を活用し、もっと教員がガイダンス等に参加すべきだと思う。教員が広報の大切さを理解するとともに、広報も担任の大切さを知るべきと思う。

全教職員が広報への協力を惜しまずしていく。

(6) 法令等の遵守（事務）

4.1

①	法令・専修学校設置基準・就業規則等の遵守と適正な運営がなされているか。	4.3
②	個人情報の保護対策がとられているか。	4.1
③	自己評価の実施と問題点の改善が行われているか。	4.0
④	自己評価結果を公開しているか。	4.2
課題等		
個人情報の漏洩が懸念される 適切である。（2）		
改善方策等		
適切である。 改善の会議はもたれているので、しっかりと実施していく。		

(7) 社会・地域貢献（生徒指導）

3.7

①	学校の教育資源や施設を活用した社会・地域貢献を実施しているか。	3.8
②	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	3.7
課題等		
2 F,10Fの活用（3） 適切である。 ゴミ拾い以外の活動があっても良い。（2）		
改善方策等		
学生会の郊外清掃活動はやっている。 学生会でウィンドブレーカーを作ったので、益々積極的に実施している。 ゴミ拾い以外の活動として、地域に対し顔の見える関係づくりを検討したい。 例えば、校門前・セブンイレブン向い・小鶴新田駅前での挨拶運動。 近隣の老人介護施設や児童館等声掛けをしてボランティアができないか声を掛けてみる。		

令和5年度学校関係者評価委員会報告書

1 日 時 令和5年6月19日(月) 13時30分～15時30分

2 場 所 SENDAI中央理容美容専門学校 3階会議室

3 出席者 学校関係者評価委員

柳澤 邦充、矢子 浩次郎、伊藤 貴章、葉葦 貴之

本校関係者

横橋 健、品川 真里子、櫻井 江利子

4 欠席者 兼重 康浩

5 審議内容

①、②について横橋校長より資料を基に説明があった。

① 令和5年度学校経営方針について

- ・学校経営方針にある「一人一人の学生を大切に指導する」という姿勢が教員に浸透し、実践している。その結果が、学生数の増加に繋がっているのではないかと考えている。
- ・担任だけでなく学校全体で学生を育てている。協力体制がきちんと出来ていると感じる。

② 令和4年度学校評価（自己評価）について

概ね4以上の評価である。良好な学校経営がされているのではないかと考えている。

いくつかの項目では評価の低いものがある為、改善を検討していきたい。

(1)教育理念・学校教育目標

④の評価が低いHP、PTA会報等を利用し周知している。

(2)学校運営

例年、学生数が少なく予算計画が苦しく低評価ではあったが、企画委員会を中心に、情報システム設備更新について計画的に検討している。

(3)教育活動・教育環境

コロナ禍で研修等学ぶ機会が減少していたが、今後は費用を確保し、計画的に研修参加をしていきたい。

月行事として理美容部会を位置付け、情報交換、意思統一を図っている。

(5)広報・募集活動

概ね良好であり、活動の成果が出ているのではないかと。学生数維持出来るように取り組んでいきたい。

(7)社会・地域貢献

地域貢献活動として校外清掃を実施している。地域の方々に認知されてきていると感じている。

継続して活動していきたい。

③ 学校評価(自己評価)に対して検討・提言

- ・保護者への周知方法として、メール配信を検討してはどうか。
紙文書の配布では保護者への周知が不十分であることが多く、メール配信は緊急時にも利用できるのではないかと。
- ・社会・地域貢献活動の一つとして、近隣の小学校に声掛けし、小学生対象に体験学習を行うのはどうか。
体験を通して、理美容に興味を持ってもらえるのではないかと。